

# 橋処理センター維持管理情報

平成27年1月

## 廃棄物処理法施行規則第四条の五の二第一号イに係る項目

項目	対象	種類	数量 (t)
処分した一般廃棄物の種類及び数量	1号炉	可燃性混合廃棄物	4920.69
	2号炉	可燃性混合廃棄物	1398.86
	3号炉	可燃性混合廃棄物	停止中

## 廃棄物処理法施行規則第四条の五の二第一号ロ及びホ<sup>※1</sup>に係る項目

項目	測定の結果が得られた年月日		平成27年1月1日 ~ 平成27年1月31日	
	対象	測定を行った位置	測定の結果 <sup>※2</sup>	基準値
燃焼室中の燃焼ガスの温度 (°C)	1号炉	炉出口	891	800°C以上
	2号炉	炉出口	901	
	3号炉	—	停止中	
集じん器に流入する <sup>※3</sup> 燃焼ガスの温度 (°C)	1号炉	集じん機器入口	224	おおむね 200°C以下
	2号炉	集じん機器入口	225	
	3号炉	—	停止中	
煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度 (ppm)	1号炉	集じん機器出口	9.9	100ppm以下
	2号炉	集じん機器出口	8.6	
	3号炉	—	停止中	

## 廃棄物処理法施行規則第四条の五の二第一号ハに係る項目

項目	対象	除去を行った年月日
冷却設備にたい積したばいじんの除去	1号炉	運転中のため未実施
	2号炉	平成27年1月13日～平成27年1月15日
	3号炉	平成26年10月に実施済みのため未実施
排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去	1号炉	運転中のため未実施
	2号炉	平成27年1月13日～平成27年1月15日
	3号炉	平成26年10月に実施済みのため未実施

## 廃棄物処理法施行規則第四条の五の二第一号ニに係る項目

項目	対象	測定に係る排ガスを採取した年月日		測定の結果の得られた年月日	
		1号炉	2号炉	1号炉	2号炉
煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	1号炉	平成27年1月26日 (ダイオキシン類) 平成27年1月6日 (ダイオキシン類以外)	測定中 (ダイオキシン類) 平成27年1月22日 (ダイオキシン類以外)	1.0ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
	2号炉	1月分測定なし (ダイオキシン類) 平成26年12月26日 (ダイオキシン類以外)	1月分測定なし (ダイオキシン類) 平成27年1月19日 (ダイオキシン類以外)		
	3号炉	1月分測定なし (ダイオキシン類) 1月分測定なし (ダイオキシン類以外)	1月分測定なし (ダイオキシン類) 1月分測定なし (ダイオキシン類以外)		
【硫黄酸化物濃度 (ppm) 硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)】	1号炉	集じん機器出口	3.3【0.11】	【42.15m <sup>3</sup> N/h】	
	2号炉	集じん機器出口	4.5【0.15】		
	3号炉	—	1月分測定なし		
ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N) (O <sub>2</sub> 12%換算)	1号炉	集じん機器出口	0.0010未満	0.04g/m <sup>3</sup> N	
	2号炉	集じん機器出口	0.0010未満		
	3号炉	—	1月分測定なし		
塩化水素濃度 (mg/m <sup>3</sup> N) (O <sub>2</sub> 12%換算)	1号炉	集じん機器出口	9.6	550mg/m <sup>3</sup> N	
	2号炉	集じん機器出口	6.0		
	3号炉	—	1月分測定なし		
窒素酸化物濃度 (ppm) (O <sub>2</sub> 12%換算)	1号炉	集じん機器出口	42	300ppm	
	2号炉	集じん機器出口	47		
	3号炉	—	1月分測定なし		

※1 固形燃料未使用、ばいじん又は焼却灰の焼成なし。

※2 測定の結果については、月の平均値とする。

※3 集じん器に流入する燃焼ガスの温度は、集じん器の性能上の理由から230°Cに設定。

これまで、排ガス中のダイオキシン類の濃度は、排出基準値 (1ng-TEQ/m<sup>3</sup>N) の1000分の1程度で推移しております。